

# 大津市中心市街地活性化協議会設立総会 議事録

---

日 時： 平成 20年 2月 8日（金） 午後 2時 00分～午後 3時 30分

場 所： 明日都浜大津 5階 中会議室

参加者： 委 員 宮崎、三上、山田、酒井、上田、別所、丸山、服部、中村、石川、  
八森、柴山、木村、中井、福井、白井、井上、高田  
オブザーバー 沢井、鈴木、古川、森脇  
事務局 富江、徳永、西村  
大津市 寺田、堀出、高野、高木

（ 50音順・敬称略 ）

---

1．開会（大津商工会議所・富江）

2．あいさつ（酒井会長）

3．議題

(1)協議会の運営について

協議会の組織体制及びスケジュールについて

資料に沿って高田委員よりせつめい

- ・まちづくり会社はどのような位置づけになるのか。
- ・協議会の事務局であり、プロジェクト会議の重要なメンバーになる。また民間事業者の相談等も協議会事務局として受けることになる。タウンマネージャーが重要な役割を果たす。
- ・プロジェクトリーダーが重要であり、タウンマネージャーがすべてプロジェクト会議を担うわけではなく、プロジェクトリーダーの資質にかかってくる。

大津市中心市街地活性化協議会規約の変更及びプロジェクト会議設置要綱について  
事務局より説明を受け、意見交換

- ・協議会の事務局をまちづくり会社が担うとあるが、プロジェクト会議をすべてタウンマネージャーに任せては動かなくなるだろう。
- ・まちづくり会社の組織体制については、民間からの派遣を期待している。
- ・協議会の事務局はまちづくり会社だけではなく、商工会議所もシンクタンクも一緒になって動かしていくことを前回の会議で話し合った。現在寺町通りでも担当課が熱心に動いているが、大津市も協力することになる。
- ・プロジェクト会議ではどのようなことを話し合うのか。すでに事業として決まっているものについても話をするのか。
- ・プロジェクトの熟度によって話し合う内容は違ってくると思うが、例えば町家再生につい

ては、具体的に場所が決まっていけないものもあるが、社会教育会館やなぎさ公園オープンカフェのように大きな組み合わせが決まっているが、具体的な事業者は決まっていけないというものもある。今後は、関係する主体が具体的な事業の内容を決めていくことになる。プロジェクト会議は、事業によって多様なスタイルになるだろう。

- ・例えばなぎさ公園オープンカフェについては、大津市が基盤を整備して、まちづくり会社が建物を建てることまでは決まっている。それ以降の内容については、市と会社で決めていけばよいことだろう。事業の具体化に向けては、もちろん市も協力して動いていく。
- ・意見交換を踏まえ、規約の変更及び要綱の設置を承認する。

## (2)大津市中心市街地活性化基本計画への意見聴取について

大津市中心市街地活性化基本計画案について

大津市・堀出より説明を受け意見交換

- ・目標達成が出来ない場合はどうなるのか。
- ・目標がなぜ達成できなかったのか、しっかりと反省をし、次につなげることが求められるだろう。目標を設定してそれをめざして取り組むことに意義があると考えている。
- ・経済産業省の戦略的補助金はソフト事業も対象になるのか。
- ・対象になる。民間事業者の場合は下限が事業費で 300万円となる。

### <15分休憩>

基本計画案に関する意見聴取

- ・大津港周辺未利用地活用事業とあるが、琵琶湖周辺に建物を立てる場合には景観等に配慮する必要がある。また、オープンカフェの立地はほんとうにあの場所でよいのか。人が来るのか危機感を持っている。
- ・大津港周辺未利用地については、以前市役所移転の話があったが現在その動きは凍結されている。オープンカフェは、立地としては大津港とレストランヴェルツブルグの中間点にあり適当であると考えている。経営が成立するかどうかはまちづくり会社で検討することになる。
- ・旧町名の復活について実現性が低いというのはなぜか。町の人には旧町名を今でも使っており、対応が必要な事項であると考える。
- ・住所表示を変更ということについては、分かりやすさという点から変更してきた経緯があり、すぐに旧町名に戻すのは難しい。しかし、サイン類によって表示をしていくということとはできると考えている。

### <中井委員より提案資料説明>

- ・資料中にある建物はどのようなものを使うのか。
- ・例えば社会教育会館など既存の建物を活用したいと思っている。

- ・エコツーリズムという話をするのであれば、里山のエリアも含んで考えて欲しい。
- ・うみのこに乗船したいと思っているが、なかなか倍率が高く乗れない。滋賀県民を優遇するなどの配慮があればと思う。
- ・寺町通りの修景事業においては電線地中化を進めて欲しい。

### (3) その他

- ・大津まちなか元気回復委員会の副会長であり、大津京阪電車を愛する会会長の林賢治氏を委員として加えたいという案について、全会一致で承認。
- ・青年会議所や商工会青年部など若い人をメンバーに入れてはどうか。

次回 2月22日 明日都浜大津5階中会議室 午後2時より  
基本計画案の修正及びプロジェクト会議の具体案について協議

## 4. 閉会